

景観さんぽ

スタート：中央図書館

→詩歌の森公園

①景観賞：北日本銀行北上支店

②景観賞：サイトウデンタルクリニック

③景観賞：松浦歯科医院

④景観賞：余白の杜

⑤まちなか博物館・広瀬川ポケットパーク

⑦資産：本通り カナダカエデ色づく歩道

⑧鬼剣舞モニュメント

⑨資産：「北上にサハラあり」詩碑

⑩資産：老松とさくらの地お旅屋

⑪展望公園（修景実験事業）

⑫景観賞：田郷医院

⑬資産：芸術イルミネーションパーク

（さくらホール）

⑭文化の街並み回廊見学（新しい公共）

ゴール：中央図書館

2013年11月30日(土)

10:00~11:30

<きたかみ景観資産>

北上市では、平成21年度に景観条例及び景観計画を施行し、景観形成活動を推進しています。その活動の1つとして「きたかみ景観資産」認定制度を創設して、景観をきっかけとしたまちづくりを目指しています。

地域の大切な景観資源とそれを守り育てるための活動を「きたかみ景観資産」として認定し、地域住民や事業者の皆さんが主体となって取り組む景観形成活動を応援します。

現在、きたかみ景観資産は91認定され、地域の皆さんがそれぞれの誇れる景観を未来につなげるための取り組みを行っています。

○本日めぐる景観資産

13.本通り カナダカエデ色づく歩道

整然とした街並みに街路樹のカナダカエデが彩りを添え、秋には美しい紅葉が見られる。

団体名：黒沢尻3区自治会

取り組み：雑草取り、清掃



12.老松とさくらの地お旅屋

諏訪神社の神輿巡回などの歴史文化を伝えているだけでなく、老松と桜の豊かな自然が残り、都市部にありながら自然を感じることができる。

団体名：黒沢尻3区自治会

取り組み：清掃活動



14.文化の薫り

「北上にサハラあり」詩碑

黒沢尻3区コミュニティセンター敷地内に、地域にゆかりのある白石かずこ氏の詩碑が建てられ、地域の文化活動の拠点となっている。

団体名：黒沢尻3区自治会

取り組み：詩の朗読会などの文化活動



7.芸術イルミネーションパーク

芸術に親しむ秋冬の時期に、さくらホール南側の散策エリアが芸術的な光のイルミネーションで彩られている。（点灯は10月から1月）

団体名：特定非営利活動法人芸術工房

取り組み：冬期間の点灯、管理運営、ソフト事業の企画運営

＜平成25年度 北上市景観賞＞

北上市では、平成25年度から、良好な景観づくりに貢献している建築物、工作物などを募集し、特に優れているものについては、「北上市景観賞」として表彰する制度を創設しました。今年度は景観賞6件、審査員特別賞1件が選ばれました。

石田邸 （和賀町後藤）



北日本銀行北上支店 （新穀町）



サイトウデンタルクリニック （大通り）



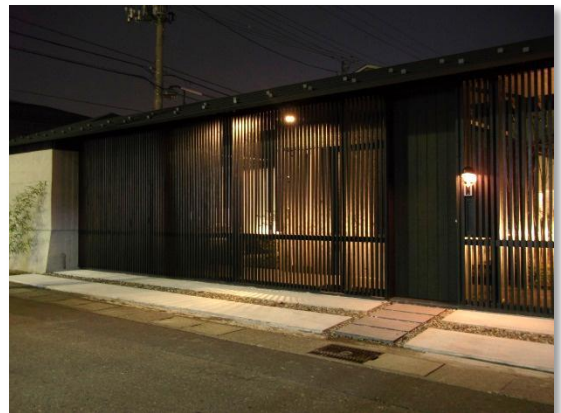
田郷医院 （さくら通り）



松浦歯科医院 （青柳町）



余白の杜 （青柳町）



【審査員特別賞】
鬼剣舞モニュメント
（本通り）



広瀬川まちづくり倶楽部 「広瀬川「まち博」1号館プロジェクト」

北上市の中心市街地を流れる広瀬川が、平成21年「広瀬川せせらぎ緑道」として生まれ変わった。当会は、長年この地で、広瀬川の維持、管理の他、専門家団体と共に、人々の記憶に残る建築物を活用した「まちなか博物館」の活動を研究、模索しています。かつては、地域の小学校や屯所であり、現在は地区公民館である歴史ある建物を、周辺地域や様々な団体と共に修景実験を行い、「広瀬川まちなか博物館1号館」とし、まちなか博物館の活動拠点を目指した取り組みです。



改修後
→



毎月の地域の皆さんでの清掃活動



今年度のあんどんないとの様子



○文化のまち並み協議会

北上市のさくらホールから詩歌の森公園までの街路は、今後の整備計画を残し必要最小限の仕様で共用開始されました。今後、この街路を市民の共有財産として有効活用するためには、地域住民はもとより、多くの主体が一緒になってそれを計画し運営して行く仕組みが必要です。

そこで私たちは、この街路が北上を代表する二つの文化施設を結ぶ路線であることに着目し、芸術文化の関係者と地域住民や企業、まちづくり団体等が行政と一緒に文化のまち並みづくりを進める協議会を設立することに致しました。

この協議会は、単にまち並みを「つくる」だけでなく、それに「したしみ」、そこで「ふれあう」事業を行うことで、市街地に薄れがちな「人とまちの絆」を深めようとするものです。将来は、周辺の商店街や自治体とも連携し、北上のまち全体の活性化を図って参ります。

